

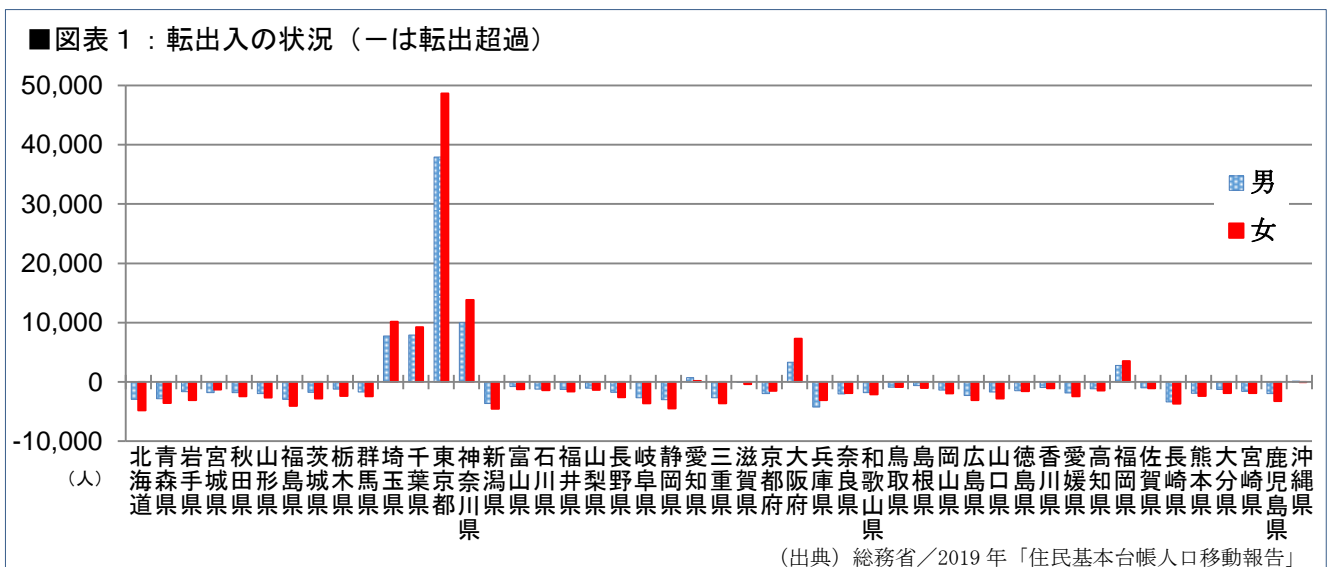
地方における女性の定着・回帰と活躍の加速化に関する意見

山形県知事 吉村 美栄子

日本が将来に向けて持続的に発展していくためには、人口の半分を占める女性も、地方においても活躍できるよう環境を整えていく必要があることから、以下の2点を提言いたします。

○若年女性の地元定着・回帰の促進

- ・令和元年の住民基本台帳人口移動報告によると、47都道府県中、39道府県が転出超過、うち男性よりも女性の転出が多いのは35道県となっており、地方から都市部に女性が流出している（図表1のとおり）。このことは、将来、地方において持続可能な社会を維持できなくなる大きな懸念材料となっている。
- ・地方の大きな課題である人口流出への対策として、若者、特に女性がやりがいや相応の所得が得られる仕事の確保・創出や、暮らしのゆとり・楽しみを享受できるワーク・ライフ・バランスの取組みを進めることにより、若年女性の地元定着・回帰を促進することが重要である。



○地方の大宗を占める中小企業・小規模事業者への積極的な働きかけ

- ・平成28年の経済センサスによると、我が国の企業の99%は従業員数300人以下の中小企業・小規模事業者となっており、また、都市部よりも地方での傾向が強く、重点化した対応が必要である。
- ・地方の大宗を占める中小企業、特に小規模事業者にあつては、経営者自らがプレイヤーとして業務を行う場合もあり、ワーク・ライフ・バランスや女性の活躍推進に取り組む時間・労力の確保が難しい状況にある。一方、経営者層の意識改革を図ることにより、トップダウンで実効性ある取組みが進むことも期待されることから、企業に出向いて個別に支援するなど、積極的な働きかけが重要である。

以上